※令和４年度以降入学生用

学校番号	２００１

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	スポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	使用せず						
副教材等	使用せず						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で、基礎を大切にし、高度な運動技能・体力や筋力を身につけよう。
・仲間とともにスポーツを考えることで、興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。

2　学習の到達目標

・実践と理論を通じ、各種目の基礎を大切にしながら、より高度で応用的な観点から技術、技能の向上をめざす。
・己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。
・教える側の視点にも立ち、さまざまな視点から課題の解決ができる能力を身につけ、体育指導者として活躍できる人物をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他者へ指導するなど実践的に活用できる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	体育理論	スポーツの発祥と発展 運動・スポーツの学び方 豊かなスポーツライフの設計	a: 運動の技術名称・実践方法・体力の高め方・課題解決方法など健康・安全を確保した運動の楽しさや喜びを味わえるように理解している。 b: 学習で得た知識を活用できるよう思考し判断するとともに、運動の継続や体力・技能の向上のために計画を立てて取り組みを工夫している。 c: 公正・協力・責任・参画などの態度を身につけるなど、健康や・安全に留意した学習に自主的に取り組もうとしている。	・レポート	・レポート ・パフォーマンス課題	・授業参加 ・レポート ・パフォーマンス課題
	陸上競技	陸上競技 ・走り高跳び ・投てき種目	a: 各種目の技術には記録向上につながる特有の動きのポイントがあることを理解している。また、互いの動きを観察し、技術向上のための方法を理解している。 a: 敏捷性や瞬発力などの各種目の応じた体力要素が影響していることから、パフォーマンス向上につなげられるよう計画を立てて取り組むことができる。 b: 自己や仲間の課題に応じた解決するための方法を話し合いや実践する中で発見し、取り組むべきことを工夫して相手に伝えている。 c:記録向上に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。また、自他の記録向上のために課題を伝え合い協力している。	・スキルテスト	・レポート ・パフォーマンス課題	・授業参加 ・レポート ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

1学期	球技	バスケットボール テニス	a: 各種目の技術や作戦、ルールなどからゲーム中に必要となる攻防のポイントがあることを理解している。 a:ボール操作とボールを持たないときの動きから、各種目の特性を理解し、相手に応じた作戦を組み立て、攻防を展開できる。 b: 自己や仲間の課題に応じた解決するための方法を話し合うことができる。種目特性から取り組むべきことを工夫して伝えている。 c: 常にフェアプレイを大切にすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などの話し合いに参加して貢献しようとすることなど、授業に参加する全員が楽しめるよう、健康や安全を注意した行動を心がけ、運動を自主的に取り組もうとしている。	・スキルテスト ・ゲーム	・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム	・授業参加 ・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム
2学期	球技	ハンドボール タッチフットボール バドミントン	a: 各種目の技術や作戦、ルールなどからゲーム中に必要となる攻防のポイントがあることを理解している。 a:ボール操作とボールを持たないときの動きから、各種目の特性を理解し、相手に応じた作戦を組み立て、攻防を展開できる。 b: 自己や仲間の課題に応じた解決するための方法を話し合うことができる。種目特性から取り組むべきことを工夫して伝えている。 c: 常にフェアプレイを大切にすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などの話し合いに参加して貢献しようとすることなど、授業に参加する全員が楽しめるよう、健康や安全を注意した行動を心がけ、運動を自主的に取り組もうとしている。	・スキルテスト ・ゲーム	・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム	・授業参加 ・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム

※令和４年度以降入学生用

	球技	サッカー	a: 各種目の技術や作戦、ルールなどからゲーム中に必要となる攻防のポイントがあることを理解している。 a:ボール操作とボールを持たないときの動きから、各種目の特性を理解し、相手に応じた作戦を組み立て、攻防を展開できる。 b: 自己や仲間の課題に応じた解決するための方法を話し合うことができる。種目特性から取り組むべきことを工夫して伝えている。 c: 常にフェアプレイを大切にすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などの話し合いに参加して貢献しようとすることなど、授業に参加する全員が楽しめるよう、健康や安全を注意した行動を心がけ、運動を自主的に取り組もうとしている。	・スキルテスト ・ゲーム	・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム	・授業参加 ・レポート ・パフォーマンス課題 ・ゲーム

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度